



国際乾燥地研究教育機構 研究発表会

国際乾燥地研究教育機構は、乾燥地や開発途上国等に関する研究・教育を全学体制で展開するための組織として平成27年1月に設立されました。

研究では、農学分野にとどまらず、医・工・人文社会科学分野の教員が参画する、全学参画型の学際研究プロジェクトを5つ立ち上げ研究活動を進めています。

設立から約2年が経過した今、当機構の研究活動状況を知って頂く機会として、各プロジェクトから研究事例発表を行うこととしました。教職員、学生の皆様の御参加をお待ちしております。

日時：2017年3月22日(水)13:00-15:10

場所：広報センター スペースC

【プログラム ※使用言語：日本語】

I 開会および機構の紹介

恒川 篤史 (国際乾燥地研究教育機構 推進室長)

II 各研究プロジェクトの研究事例発表

① **黄砂・環境修復プロジェクト** 黒崎 泰典 (乾燥地研究センター 准教授)

「モンゴル調査から分かってきた黄砂予測の課題」

② **農業・農村開発プロジェクト** 田村 文男 (農学部 教授)

「乾燥地域で栽培可能なナシ品種・栽培技術の開発」

③ **過疎地域・産業振興プロジェクト**

土屋 哲 (工学研究科 准教授) ・清水 克彦 (産学・地域連携推進機構 准教授)

「資源管理に係るグローバルな分析・産業振興に係るローカルな取組み」

④ **人間開発(社会,教育,医療)プロジェクト** 大谷 眞二 (IPDRE 准教授)

「気候変動と開発がもたらす人畜への健康影響」

⑤ **砂丘地保全・活用プロジェクト** 小玉 芳敬 (地域学部 教授)

「ドーナツ型風洞を用いた風紋描画装置の開発 ～研究と地域貢献の往還～」

III 閉会

山中 典和 (国際乾燥地研究教育機構 副推進室長)